

官報 告

宗  
丙  
受付金元  
三  
八  
二  
日

立案 大正元年八月七日  
決裁 大正元年 月 日

宗秩次總裁久藤

宗秩主事

宗秩

事務兼勤

大臣 千利

次官 河村

從六位南部廣房持方敏佐

二  
元 同  
年 覽  
八 月  
月 九 日

完  
八 月 九 日  
九 綱 五 日  
永 久 年 保 存

大正元年八月六日  
帳記入八月七日  
官 省 内

--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--

(元)



丙 大正元年八月六日

立案 大正元年八月六日  
決裁 大正元年八月六日

宗秩寮當直

當番書記官

大正元年八月六日發達

案

特旨ヲ以テ位一級被進  
從六位南部廣牙

叙正六位

宮内省

右之通本日 宣下相成候條此旨及傳達候位  
記並辭令ハ明日可及回送候也

大正元年八月六日 宗秩寮總裁

正六位南部廣牙

(元)





從六位南部廣子

特旨ヲ以テ位一級被進

從六位南部廣子

敘正六位

右謹テ奏ス

大正元年八月六日

内

閣

内閣總理大臣侯爵西園寺公望望



大正元年八月六日

内閣書記官 印



内閣總理大臣 印

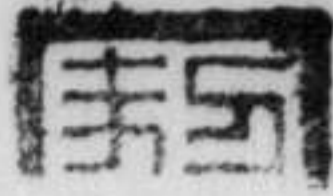
内閣書記官長 印

從六位南部廣房ハ明治元年二月御親征ニ付會計方涉用取扱被仰付北陸道へ出張シ同年四月奥羽征討越後口再進ニ付隨行被仰付同年五月民政掛兼綴被仰付民事ニ盡瘁シ後越後府權判事栢崎靜岡兩縣参事検査助等ニ歴任シ其間國事多端、時々方り東西ニ奔走シ功勞數ナカラ大殊ニ廣房ハ齡九十歳、高年ニ達シ目下病氣危篤、越ニ付舊功ヲ録セラレ此際特ニ位一級ヲ進メ正六位ニ叙セラレ然ルヘシト認ム

内閣



元  
年八月七日



丙  
大正元  
年八月七日  
三十八  
二ノ二

百成位記並約令及同送也  
大正元年八月七日

字秋泰陽載佳密之積道久

皇一任南都廣身

宮  
内  
省

(五四)

裏  
面  
白  
紙

15